

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		4×4＝16 はかせ		公表日 2026 年 2 月 15 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1		1Fは大広間と個室が2室で100㎡・2Fは60㎡ 広いスペースを活かして大縄や鬼ごっこなど 身体を使った遊びを取り組んでいる	今後も、支援内容を充実させ粗大運動を取り 入れていく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		事業所内はバリアフリー トイレが広い	視覚的に理解しやすく、空間を分ける等の構 造化を今後より進めても良いと感じる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2		使用した玩具・文具・椅子机は毎日消毒 空気清浄機・加湿器使用	遊ぶ所とおやつやお弁当を食べる所がある程 度区切られている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2		個室は2室あり、必要に応じて使用している	クールダウンの部屋、もしくは場所があつて も良いと感じる
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		当日・前日の支援を毎朝に確認	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		アンケートの集計を職員間で共有し、支援に 反映できるよう努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		月に1度職員と面談を行い、意見を把握する機 会を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1		現在は行っていないが今後は導入を検討
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			適宜、外部研修に参加 内部研修にて、周知している	今後も研修・勉強会の機会を設け、職員の質 の向上を行います
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2		ホームページに掲載	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2		モニタリングを通してニーズを把握したり、 日々の行動観察や外部の検査などから支援計 画を作成	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		日々の支援内容を情報共有し子ども一人一人 の課題を明確にできるようにしている ケース会議を通して情報共有を行っている	1つの事例や事象に対して、より支援を職員全 体で検討しても良いと感じる
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		ケース会議にて話し合った内容を元に支援を 行い、毎朝の振り返りでも確認している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1			インフォーマルの評価が基本であり、標準化 された検査は使用していない
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2		対象児に合った支援を選択し、具体的な支援 内容を設定できるよう打ち合わせを行い、職 員間で内容を確認して共有している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		1	子どもの様子を見て職員間で共有立案	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		季節や発達状況に合わせて立案	より柔軟性があっても良いと感じる

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2		個別、集団その日の利用者の状況に合わせて活動を計画	より子どもの発達や特性に合わせて、静と動、個別と集団を組み合わせたいけるように職員間で情報共有を行う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1		開始前に必ずミーティングを行い、子どもの情報・支援内容について共有	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		1	翌日のミーティングを行い、情報を共有している（緊急時は当日）	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1		日誌を作成し、前回の活動時と比較を行い支援に変化・工夫する	大まかな記録は取っている
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		6ヶ月以内のモニタリングと、必要に応じて適宜面談を行い、支援内容を見直している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1		相談支援員と担当職員で随時直接情報交換や協議を行っている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1		必要に応じて連携を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1			時間をかけての情報は難しく感じる
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1			今後、関係機関との連携を図っていく
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		1		今後、関係機関との連携を図っていく
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1		個人情報の観点から行っていない	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		送迎時に保護者へ、子どもの状況や課題について説明共有している	連絡帳等で発信はしているが、共通理解までは至らないように感じる
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		1		実施するなら時間と人が必要と思う
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時に説明 不明な点がありましたら、その都度伝えている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		定期的にモニタリングを行い、保護者や利用者の意向を確認している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2		定期的にモニタリングを行い、支援内容を説明し、同意の署名をもらっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		保護者からの相談は随時受け付けており、必要に応じて対応している	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		1		現状は実施するのは難しいと思う
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		保護者からの相談は随時受付けており、状況によって対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1		定期的に行事予定の手紙を配布したり、支援の様子を写真で送っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報がわかる書類は鍵付きの書庫に保管	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2		個人情報保護の観点から実施は難しいと思う
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		避難訓練を定期的に行っている	保護者の方にも契約時などに説明をし、周知していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	1		契約時に生活で気を付けておかないといけない点などは聞き取りを行っている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		対象児童が利用する日はなるべく除去する対象の食べ物を出さないようにしている	母親等の申し伝えて対応している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1		安全研修を受け、事業所内研修も行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1		災害時を含めた緊急時の連絡先を伝え合っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		発生時は、記録して見直している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待研修に参加し、虐待防止委員会を年に2回開催している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		対象児がいない	